



報道関係者各位

2023年12月22日
栃木県足利市
株式会社マーケットエンタープライズ

足利市が不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始 ～新たなリユース施策導入で廃棄物削減へ～

栃木県足利市(市長:早川 尚秀)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証プライム・証券コード 3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、2023年12月22日(金)より、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、足利市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

足利市ではこれまで、粗大ごみとして出された自転車を修理し、抽選で市民へ提供するなど、リユースを推進する取組を行なってまいりましたが、廃棄されたものの中には、まだ活用できるものが多く含まれており、さらなるリユースの促進につながる施策導入の可能性を模索しておりました。しかしながら、市が独自でリユース促進のための取組を行なうとなると、集まってきたリユース品の保管場所確保などの課題も多く、新たな施策導入には至っておりませんでした。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中でマーケットエンタープライズが働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リサイクルショップに一括査定依頼され、買取価格を比較することができます。一度の依頼だけで不要品の買取価格をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 110 万人(2023 年 10 月末日)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■足利市の課題と「おいくら」による解決策

足利市では、粗大ごみの戸別収集を行なっておりますが、大型や重量のあるものでも、原則、自宅の外へ不要品を運び出す必要があります。そのため、市には「不要品を自宅の中まで取りに来て欲しい」といった声が寄せられておりました。また、電話とFAXによる粗大ごみ収集の申し込みを行なっているため、受付対応が必要不可欠で、市職員へ負荷がかかっておりました。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、まだ利用できるものであれば、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も対象で、不要品売却と受け渡しは、最短だと「おいくら」を通じて買取依頼をした当日に可能となります。なお、市民のサービス利用に関する費用負担はもちろん、足利市の費用負担もなく、サービス利用時に市職員が対応する必要もありません。

■今後について

12 月 22 日(金)13 時(公開時間が前後する可能性があります)より、足利市ホームページ内

(<https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/living/000018/000128/000560/p002331.html>)に「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。足利市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や、社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組によって、売却という形で簡単に不要品リユースができることを市民が認知することで、「廃棄ではなく、リユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースに対する意識の変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組によって、循環型社会の形成に向けた、社会的側面・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■栃木県足利市

足利市は、栃木県の南西部に位置し、東と北は佐野市、西は群馬県桐生市、南は群馬県太田市・館林市・邑楽町に接しており、東京までは、直線距離で 80 キロメートルの距離にあります。史跡足利学校や鏝阿寺などの歴史的遺産も多く、「歴史と文化のまち」として知られております。近年では、アルミや機械金属、プラスチック製品の製造など様々な分野の工業が伸展し、総合的な商工業都市へと変貌を遂げております。

人口:141,342 人(男 69,747 人、女 71,595 人)(2023 年 10 月 1 日)

世帯数:67,702 世帯(2023 年 10 月 1 日)

面積:177.76 平方キロメートル

ウェブサイト:<https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/>

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、メディア事業、モバイル通信事業などを展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場。2021年2月に東証一部へ市場変更の後、2022年4月にはプライム市場へ上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ710万人を達成しました。足利市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で92にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

足利市に関すること

足利市 生活環境部 クリーン推進課

クリーン推進担当：岩崎

Tel:0284-20-2142 Mail：clean@city.ashikaga.lg.jp

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR担当：立花

Tel:03-6675-3923 Mail：pr@marketenterprise.co.jp